

令和3年度

当初予算を可決

2月定例会において、令和3年度の「一般会計予算」、「特別会計予算」、「企業会計予算」を可決しました。

令和3年度の当初予算は、一般会計2兆1,361億3千万円、特別会計9,448億9千万円、企業会計418億1千万円の規模であり、一般会計では、前年度当初予算に比べ2,844億円、15.4%の増で、過去最大となっています。また、一般会計は、850億円の令和2年度2月補正予算(総合経済対策)と一体となった14か月予算としています。(7面に「令和2年度2月補正予算の概要」を掲載しています。)

当初予算の事業のうち主なものをご紹介します。

★新型コロナウイルス感染症対策

●感染拡大の防止と医療提供体制の強化

■感染拡大の防止

- 福祉施設や学校等の感染防止対策を支援…11億9,592万円
- 飲食店の感染防止対策を支援…4,505万円

■医療提供体制の強化

- 入院病床、宿泊療養施設を確保…399億6,792万円
- 入院患者を受け入れる医療機関を支援…4億3,200万円
- 医療設備の充実を支援…68億8,609万円

●地域経済の立直し

■事業継続の支援

- 中小企業向け制度融資を充実
融資総枠1兆2,728億円を確保(うち新規融資枠4,342億円)
- 売上が減少した中小企業の経営を支援…2億9,507万円

●ワンヘルスの推進

- 「アジア防疫センター(仮称)」の誘致を推進
…1,433万円【新規】
- 保健環境研究所基本計画を策定…3,731万円【新規】
- 動物保健衛生所の設置を準備…396万円【新規】
- ワンヘルスに関する教育を推進…1,971万円【新規】

■稼げる農林水産業の振興

- 農林水産物の販売・消費を拡大…1億8,396万円
- 園芸農業の競争力を強化…15億3,200万円
- 水田農業の競争力を強化…2億7,658万円

■観光の振興

- 観光客の受入環境を整備…3億6,521万円
- 観光団体のDMO化を加速…1,399万円【新規】

●長く元気に「暮らす」ことができる地域社会づくり

■健康づくりの推進

- ふくおか健康づくり県民運動を推進…1億8,703万円
- がん患者の社会参加を支援…945万円【新規】

■スポーツ立県福岡の推進

- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運を醸成
…14億8,001万円
- 「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」を契機としたスポーツ振興
…2,737万円【新規】

■文化芸術の振興

- アジア国際美術展を開催…400万円【新規】
- 日本遺産「古代日本の『西の都』」の魅力を発信
…1,536万円【新規】
- 障がいのある方のアート作品の魅力を発信
…1,000万円【新規】

■女性、高齢者、障がいのある方の活躍推進

- 企業における女性の活躍を推進…1,265万円【新規】
- 70歳現役社会の実現に向けた取り組み…1億6,132万円
- 障がいのある方の自立と社会参加を支援…2,194万円

■快適な生活環境の整備

- プラスチックの資源循環を促進…1,906万円【新規】
- 街なか低未利用地の活用を促進…691万円【新規】

■暮らしの安全・安心の確保

- 飲酒運転撲滅対策を強化…4,808万円
- 性暴力対策を強化…1億2,691万円

●子どもを安心して産み「育てる」ことができる地域社会づくり

■子ども・子育て支援の充実

- 不妊治療に対する支援を充実…9億2,351万円
- 予期せぬ妊娠や出産に悩む妊産婦を支援
…2,161万円【新規】
- 子ども医療費助成制度を拡充…55億6,733万円
- 待機児童の解消を推進…1億8,083万円【新規】

★ポストコロナに向けた基盤づくり

新たな成長産業の創出

■福岡県発の新ビジネスの創出

- 宇宙分野へのビジネス展開を支援…3,000万円【新規】
- ブロックチェーン技術を活用した製品・サービスの開発を支援
…1,400万円【新規】
- バイオ産業の拠点化を推進…1億7,137万円【新規】
- 北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを推進
…5,165万円【新規】

■脱炭素社会の実現

- 洋上風力発電の導入と産業集積を促進
…1,702万円【新規】
- 水素エネルギー分野への中小企業の参入を支援
…1,286万円【新規】



人と企業の新たな受け皿づくり

●人と企業の受け皿として「選ばれる福岡県」

■情報発信・相談体制の強化

- 市町村と連携したオンラインセミナーを開催
…321万円【新規】
- 移住希望者からの相談体制を充実…470万円

■受入環境の整備

- 移住支援金を大幅に拡充…1億2,013万円
- 農林水産業への就職支援…4,274万円【新規】

■企業誘致とテレワークの推進

- 「福岡でテレワーク」を推進…3,000万円
- 企業の拠点新設、本社機能の移転拡充を支援…18億813万円

■国際的な受け皿づくり

- 国際金融機能を誘致…4,005万円【新規】

●住み慣れたところで「働く」ことができる地域社会づくり

■中小企業の支援

- デジタル化を支援…2,065万円
- 生産性向上の取り組みを支援…1億1,793万円

将来の発展基盤の充実と安全・安心で災害に強い福岡県の実現

●豪雨災害の復旧・復興、防災減災

■復旧・復興

- 被災した道路や河川などの復旧を加速化
…300億4,600万円
- 日田彦山線沿線の地域振興を支援…1,419万円【新規】

■防災減災、県土の強靭化

- 緊急輸送道路を整備…202億6,796万円
- 流域治水を推進…5,372万円【新規】
- 湛水による農業被害を軽減…2億8,310万円【新規】
- 災害発生時の情報収集力を強化…1,354万円【新規】

■将来の発展基盤の充実

- 福岡・北九州空港を整備…56億6,022万円
- 北九州空港の貨物拠点化を推進…5億8,060万円
- 基幹的道路を整備…156億2,633万円
- 福岡空港へのアクセスを強化…1億7,000万円【新規】



福岡県議会ホームページ▶
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp>

QRコード

携帯電話向けサイト▶
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>

新知事誕生



小川洋前知事の3月24日辞職に伴う福岡県知事選挙が4月11日投開票され、令和3年度当初予算の編成に前知事とともに取り組んだ服部誠太郎前副知事が当選されました。

服部誠太郎新知事による新型コロナウイルス禍克服の取り組みと、ポストコロナに向けた新たな福岡県政がスタートします。

定例会の概要

令和三年二月

2月定例会は、小川洋知事の入院、療養のため、知事職務代理者 服部誠太郎副知事のもとで、2月22日に招集され、3月24日まで31日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、国の補正予算に係る総合経済対策の効果や速やかに発揮させるための令和2年度補正予算議案1件、これと一体となった14か月予算となる令和3年度当初予算議案20件、条例議案13件、専決処分したもののついて報告し承認を求め議案1件、契約の締結に関する議案4件、経費負担に関する議案2件、人事に関する議案6件、その他の議案3件、計50件が提出されました。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策、知事選挙及び県議会議員補欠選挙実施のための経費など令和2年度補正予算議案11件、経費負担に関する議案9件、委員会提出議案2件の計22件が追加提出されました。

審議にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策、福祉労働問題、環境問題、農林水産問題、教育問題など県政全般にわたり活発な論議が交わされました。

また、3月9日に予算特別委員会が設置され、付託された「令和3年度福岡県一般会計予算」など20件の当初予算議案について審議が行われました。

審議の結果、提出された議案72件については、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。(6面に予算特別委員会の概要を掲載しています。)